

ワクワク☆

治田小 学校だより
2026 年6月29日
栗東市立治田小学校
NO.5

校外学習のラッシュ！

6月はどの学年も校外学習に出かけました。1年生は通学路探検、2年生は町探検で、3年生は日清食品工場見学、4年生は吉川浄水場、5年生はフローティングスクール、6年生は奈良公園です。子どもたちはワクワクして参加していました。そしてどの学年でも、一生懸命学ぼうとする姿勢が見られ、治田の子どもの好奇心と探究心に頼もしさを感じました。校外学習の行き先や学習内容を見比べると、子どもの成長や興味関心に合わせて内容が設定されていることに気づきます。生まれた時には「自分が世界のすべて」であったのに、成長と共に周囲の環境との関わりを考えるようになったり、自分を取り巻く人たちへの理解ができるようになったり、そして社会の仕組みやその人たちとの関わりを考えられるようになったりして、子どもたちの世界はどんどん広がっていくんですね。

ところで、校外学習では集団行動を学ぶ場でもあります。交通ルールや見学先でのマナーを守って行動することが、安全に行動し、人に迷惑をかけないことにつながります。みんなと一緒に行動し、自分勝手な行動を慎むことも重要な学習内容です。どの見学先に行っても治田の子どもは、「よく挨拶をするね」「自分の意見をはっきり言えるね」「時間を守っているね」「人の話をよく聴くね」「人にやさしくできるね」とほめてもらえることが多いです。そんなふうに治田っ子の自慢がどんどん増えるように、これからも「よく考え」て、「自分から行動する」治田っ子であることを願っています。

水泳が始まりました！

5・6年生がプール掃除を一生懸命してくれたおかげで、きれいなプールで水泳・水遊びの学習ができるようになりました。実はシルバー人材センターの方々や治田小サポーターの皆さんもプールの環境整備をがんばってくださいました。古いプールではありますが、プールサイドに新しく人工芝を敷き、安全第一でプールに入っています。

プールが大好きな子どもたちがたいへんたくさんいて、天気の良い日にはプールに大きな歓声を響かせて、一生懸命泳ぐ姿が見られています。低学年では、水遊びを通して水慣れすることが大切です。「水につかっても顔をつけても、水の中で目を開けてもへっちゃらだよ。」「水の中でいろんな動きをしても、怖がらずに普段と同じように動けるよ。」というように思う存分水慣れをして、水の中での体を扱う感覚を養います。この感覚のため込みがないとその後の泳法が身に付きません。どんな学習にも共通することですが、小さいころにからだを使った遊びを思う存分して、多様な感覚をため込んでおくことが全ての学習の土台になるのです。遊びの中にたくさんの重要な学びがあることを大切にして、子どもたちにとって値打ちのある遊びを存分にできる環境づくりに努めていきたいと思っています。



あいさつ運動

今年度もあいさつ委員会が中心となって、朝の時間に昇降口前であいさつ運動を展開してくれました。賛同する子どもたちも一緒になって、大きな声で「おはようございます！」と登校してくる子どもたちにあいさつをしてくれていました。梅雨に入って子どもたちの挨拶も湿りがちですが、見守り隊の皆さんや学校に来るお客さんに対してでも、雨を吹き飛ばすぐらいの爽やかなあいさつが広がっていくことでしょう。

